活動報告

「住みたい,住み続けたいまち湘南大庭」

を目指して

２０１９（令和元）年度

第4期湘南大庭地区郷土づくり推進会議

郷土づくり推進会議（地域団体代表13名・公募委員6名）

◎地域づくりチーム（10名）

地域での見守り合い活動の推進

地域課題と解決に向けての検討

近隣の学校等との連携

◎広報・情報機器活用チーム（5名）

湘南大庭ポータルサイトの充実

地域の方々との知識・情報の効果的な共有のあり方

見守りアプリの活用研究

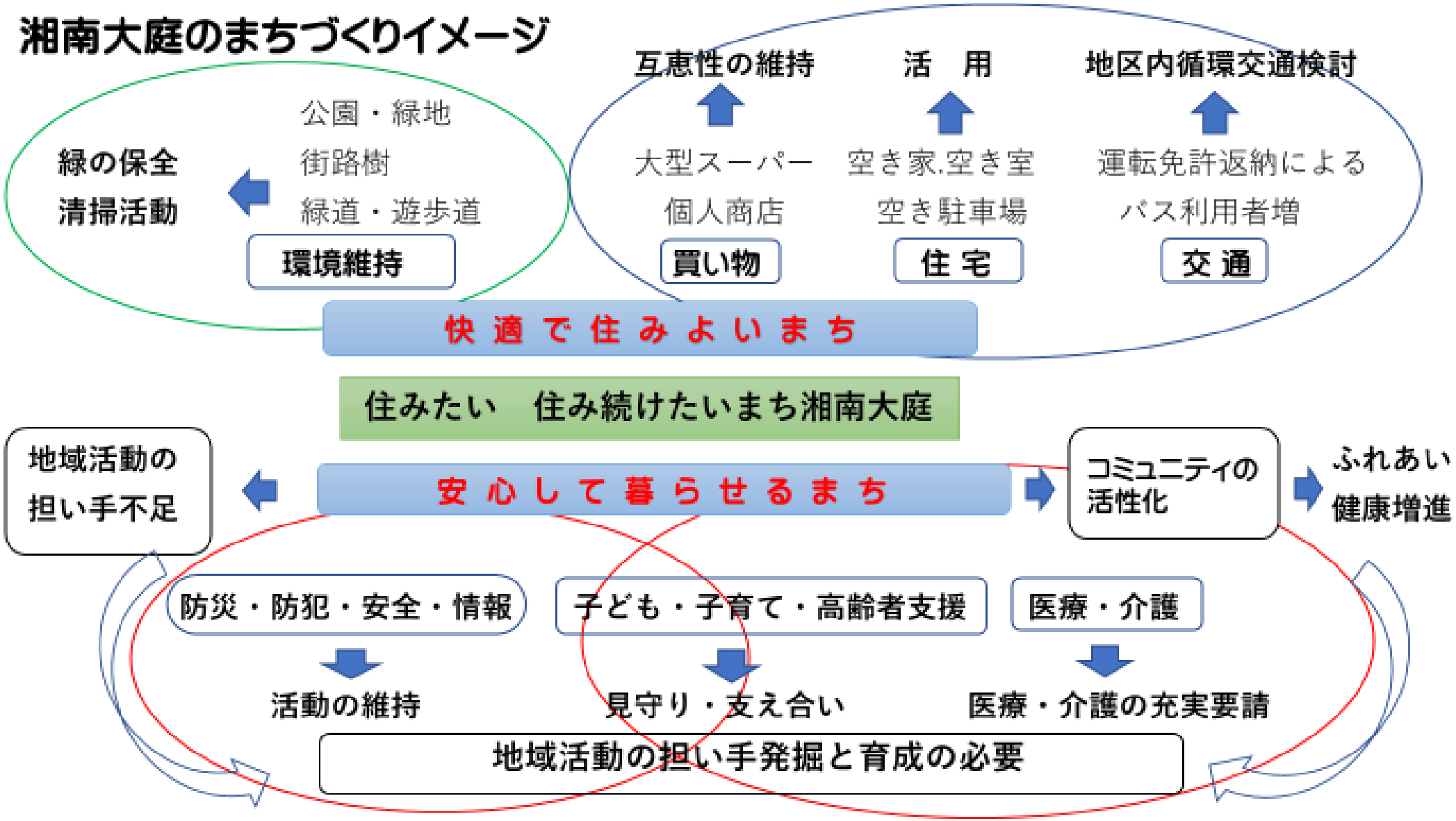
◎健康増進チーム（4名）

ラジオ体操など健康体操の普及促進

健康相談・講演会の実施

公園の健康遊具の活用促進

新たな課題「これからのまちづくり」



湘南大庭の良さを発信

湘南大庭の魅力冊子作成 → ポータルサイトでも紹介

地域外に発信　(移住者の誘い)

良好な住まい環境
の紹介

公園・緑地・遊歩道
道路等の紹介

自治会・町内会の
魅力を紹介

地域住民から見た魅力
希望する自治会・町内会・
個人に原稿依頼

生活しやすいまち
の紹介

生活の利便性
(商業施設・銀行・
医療施設・バス便数)

進むオールドタウン化　その対応

例：交流の機会増やす
（健康体操・懇親会等）
地域の人的資源活用

有志で自治会活動補佐
（サポーター制）
自治会活動を補佐

移住奨励等
（他地域からの移住勧誘）
空き家の利活用

人

- 高齢化、独居者の増加
- 自治会に入らない人の増加

コミュニティ

- 近所付き合いの希薄化
- 自治会・町内会活動の維持困難

住宅

- 集合住宅の空き室増加
- 戸建て住宅の空き家増加

地域福祉：見守り合い・助け合う地域づくり

包括支援センターと連携	担い手養成方法の検討	子供支援の在り方検討

在宅生活の支援

地域デビューの支援

実態の把握
（見守り活動等）

高齢世帯の増加で
老々介護が常態化

地域活動の
担い手不足

子どもが抱える問題

生活・交通環境　ニーズを伝え、利用の推進
（互恵関係を築く）

例：商業施設と意見交換の場設定

利用者のニーズを伝える

便利な商業環境とサービス維持

商業環境

大型商業施設

地域の個人商店・事業所等

買い物が困難な人の増加

地区内を走る循環交通の検討

病院・商業施設への交通支援

車いすやバギーでも通りやすい歩道

免許返納でバス利用者増の予想

交通環境

辻堂・湘南台へのバス便良好

ツインライナーの導入で時間短縮

バス停までの移動の不便性調査

今後の課題
「これからの湘南大庭のまちづくり」

1．（仮称）湘南大庭地区地域活性化協議会の立ち上げと運営
　　＊住宅マスタープランに基づく協議体
2．共生社会実現に向けた地域諸団体の目的・情報の共有、共働
　　・郷土づくり推進会議の役割
3．子ども・子育て世代への目配り・支援の具体化
4．各世代の地域参加の促進・地域の担い手の育成
5．地域の良さ、魅力の再発見、共有・発信